

全日本実業柔道個人選手権大会

上川選手(100kg 超級)が優勝、下和田選手(100kg級)準優勝

8 月 29～30 日にベイコム総合体育館（兵庫県尼崎市）で開催された全日本実業柔道個人選手権大会で、京葉ガス柔道部の上川大樹選手が男子 100 kg 超級で優勝、下和田翔平選手が 100 kg 級で準優勝しました。

【写真】優勝した上川選手(右)と準優勝の下和田選手=8 月 30 日、ベイコム総合体育館



全日本実業柔道連盟主催の同大会が 2 日間にわたり開催され、初日は男女 8 階級、2 日目は 7 階級の試合が行われました。京葉ガス柔道部からは 11 選手が出場しました。

このうち 2 日目の 100kg 超級で上川選手が優勝、100 kg 級で下和田選手が準優勝したほか、100 kg 超級に出場した須藤紘司選手と初日の 73 kg 級に出場した西岡和志選手がベスト 8 入りしました。

この大会初出場の上川選手は初戦の 2 回戦を一本勝ちすると、3 回戦は優勢勝ち、4 回戦は一本勝ちで駒を進めました。続く準々決勝では土屋選手（旭化成）に内股で一本を決めると、準決勝では大会 3 連覇中の西潟選手（同）と対戦し、大外刈りで一本勝ちしました。赤迫選手（新日鐵住金）との決勝は、序盤に上川選手が技ありを奪うとそのまま攻め込んで相手に 4 回の指導が与えられ、反則勝ちとなりました。

下和田選手は初戦の 2 回戦を反則勝ち、3 回戦、4 回戦は一本勝ちし、続く準々決勝では乙津選手（東芝）に抑え込みで一本勝ちしました。準決勝でも藤井選手（パーク 24）に大外刈りで一本勝ちしましたが、決勝戦では熊代選手（ALSOK）に敗れ、準優勝となりました。